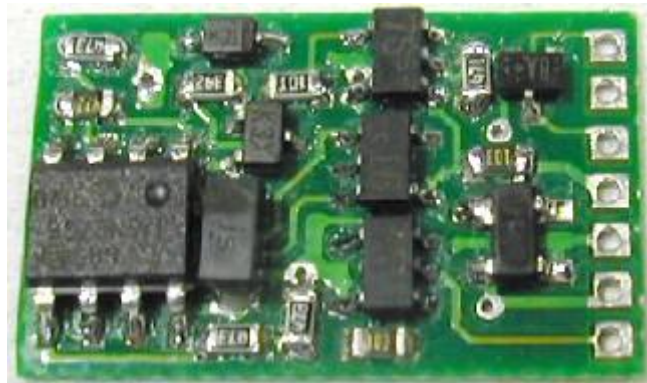


DF 1 2 r3 説明書

3FX 両極性ファンクション専用デコーダ



Version 1.00



永末システム事務所



1.1 主な特徴

- **2FX** 両極性ファンクション及び **1FX** 完全独立ファンクション。どの出力も F0-F12 及び方向制御の設定が可能です。
- 各ファンクションは、**1END, 2END** というグルーピングが出来、その各々について一斉に消灯することが可能です。これは片運転台や、両運転台の車輛を編成に組み込むときに便利に使用できます
- 停止時減光機能（走行し始めるとヘッドライトが明るくなります）
- フルファンクション（米国型ファンクションを含む）
- **FX28** 対応
- **CV46** の設定により、方向転換してもライトなどの方向が一時的に変更しないように出来ます。（入換え時に有効）

1.2 フル 3FX

CV35-CV40 により、FX1-FX6 のキーマップと連結面、方向制御の設定が出来るだけでなく、CV112-CV117 によって、個別の FX の照度及び以下の日本型及びアメリカ型の FX 設定が可能です。

CV112-117 bit(7-4)減光値 / bit(3-0)灯火種別

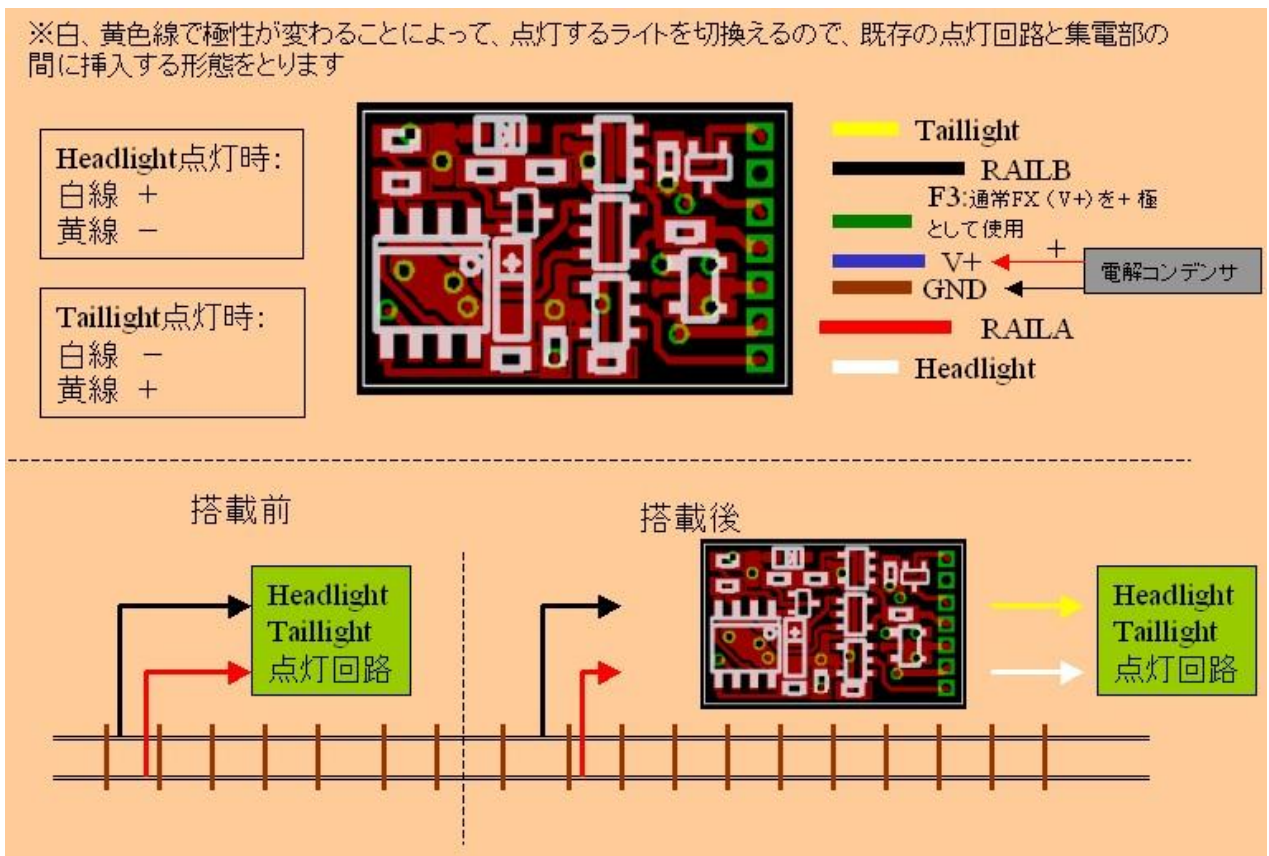
- 0000 : NORMAL; 単純 on/off
- 0001 : ヘッドライト; 停止時減光、駅通過減光(CV33 で設定)
- 0010 : 右テールライト; 入換標識灯機能(CV34 で設定)
- 0011 : 左テールライト; 入換標識灯機能(CV34 で設定)
- 0100 : 室内灯; 夜行減灯(CV43 で設定)
- 0101 : 室内蛍光灯; 夜行減灯(CV43 で設定) 点灯時蛍光灯のようにちらつく
- 0110 : ヘッドライト(フェードイン/アウト) 発電機で点灯させるように徐々に明るくなる
- 0111 : 火室の表現
- 1000 : 点滅
- 1010 : フリッカー; 炎の表現
- 1011 : MARS; 回転灯 米国型(CV63 で回転開始設定)
- 1100 : 1 ストロボ; 1 回ずつ点滅 米国型(CV63 で点滅開始設定)
- 1101 : 2 ストロボ; 2 回ずつ点滅 米国型(CV63 で点滅開始設定)
- 1110 : 蛍光灯



2.導入

2.1 結線方法

DF12 の旧バージョンと結線位置が異なるのでご注意ください。



3.仕様

3.1 基本仕様

項目	内容	
DCC 動作電圧	7 - 22V(絶対定格)	
出力電流	FUNCTION *32	各 FX 50mA 以内
	合計	連続 0.12A ※連続出力は、放熱無限大の条件です
アドレス設定	1 - 10239	
プログラミングモード	全プログラミングモード	
総括制御	対応	
CV 値リセット	CV8=103 の書き込みで出荷時状態にリセット	

出荷時設定

V+	コモンプラス	
Fx1	前進時 Head Light (F0)	
Fx2	後進時 Tail Light(F1)	
FX3	F3 蛍光灯室内灯	

電解コンデンサの使用による内部電源強化について

V+と GND 間に電解コンデンサを接続して内部電源の強化が可能です。これによって、集電不良によるライトのちらつき防止に効果があります。容量は 10uF 程度からでも違いが出ることもあります。なお、コンデンサへの充電突入電流により、コマンドステーションのブレーカが作動したり、プログラミングトラックでのプログラムが正常に行えなくなるなどの弊害がでると、デコーダ内部電源にも負荷がかかるので、せいぜい 220uF 前後でカットアンドトライで最適値を検討してください。製品添付の 100uF/25V をご使用下さい。なお、低 ESR のものは充電電流が大きいので使用しないで下さい。

